

## 西部通信予備日の開催について

5月30、31日に予定をしている西部通信が台風等の影響により延期となった場合の対応についてご理解をお願いします。

状況①翌週6月6、7日は四ツ池、エコパともに使用できない。磐田市陸上競技場は使用可能である。

ただし、磐田市陸上競技場での記録は公認記録としては認められない。

状況②翌々週6月13、14日は四ツ池の使用は可能であるが、この場合、県通信の1週間前のため、上位13位を決定することができず、県通信のエントリーができない。抽選やランキングで13位を決めることも難しい。また、県通信と連続した週での大会となり、選手の負担が大きい。

状況③1日でタイムレース決勝として実施をすると競技時間は夜間までとなり、実施ができない。

以上の状況を踏まえ、今年度は5月30、31日の競技が延期となった場合には、生徒が努力した成果を発揮する場を設け、県大会の出場に繋がるようにするために、磐田市陸上競技場にて競技を実施したいと考えています。

ケース①	ケース②	ケース③	ケース④
どちらかが半日延期	1日目が延期	2日目が延期	両日延期
半日でできるよう、タイムテーブルを組み直し、できる限り30、31日に四ツ池で試合を終わらせる。	2日目には2日目の競技を実施。その場合、1日目の競技は6日に磐田で実施（非公認）。四種競技で全国標準を突破しても記録は認められない。	2日目の競技を6日に磐田で実施。（非公認）	両日とも6、7日に磐田で実施。（非公認）

※ケースに関しては状況によりこの限りではありません。一例として挙げています。

※1日目が延期された場合、四種競技の標準突破を狙う機会が1回減りますが、今年度は県通信、県総体と四種競技があるため、標準記録を狙う機会は昨年度までと同様、2回あることになります。

※予選を行わず、タイムレース決勝にするなど、競技の実施方法を変更する可能性があります。

会場の規模の問題（生徒の待機場所、駐車場、送迎、観客）等、多大なるご迷惑をお掛けすることが予想されますが、万が一の場合には選手が集中して競技ができることを最優先に考えて、競技運営にご協力いただきますよう、お願い致します。

## オープン種目の実施について

西部通信は他地区と比べ、非常に多くのチーム、選手が出場しており、例年、競技終了時間が16時過ぎとなっています。オープン種目を実施し、組数が増えてしまった場合には競技終了時間が遅くなり、生徒の帰宅時間の遅れ、送迎面での混乱など安全な競技会運営ができなくなってしまう可能性があります。また、暑熱対策、予備日への対策なども踏まえ、オープン種目は例年行われている棒高跳のみとさせていただきます。ご理解いただきますようお願い致します。

## 県大会への出場について

県通信、県総体の出場資格は以下の通りとなっています。ご確認をお願いします。

### 【全日本通信陸上競技大会静岡大会（6月20.21日）について】

出場資格…①本大会において、13位までの者(チーム)(四種競技は8位までの者)

②期日までに全日本通信陸上競技大会静岡大会の標準記録を突破した者  
(追い風参考記録は認められない。)

※全日本通信陸上競技大会静岡大会は1人2種目まで(リレーは含まない)出場することができるが、標準記録での出場は1種目しか出場することができない。そのため、2種目の出場を考えている選手は、地区大会に参加し、13位までに与えられる権利を得る必要がある。

※地区大会で13位までに入れなかった。失格となってしまった場合でも、同種目で標準記録を突破していれば出場することができる。

その他…・地区予選会で行った、男子学年別1500mは共通1500mとし、女子1年800mは共通800mと併合して行う。

・低学年リレーは実施しない。

### 【静岡県総合体育大会陸上競技大会(7月18.19日)について】

出場資格…①本大会において、13位までの者(チーム)(四種競技は8位までの者)

②申し込み期日(6月18日)までに全日本中学陸上標準記録を公式に突破した者(ただし、東海大会については、本大会で13位までの者の参加とする。)西部通信にエントリー(オープン種目を除く)していることを条件とする。